

卒業 未来につながるアイデアを



柳川らしさをモチーフにした新商品を開発

私が柳川に来た頃は海外からの観光客が多く、多言語での情報発信やプロモーション活動など国内外へ向けてのPRに取り組みました。外に向けての発信と、地域の魅力を掘り起こす着地型観光「ゆるり旅」に携わり、手応えややりがいを感じながら活動していました。しかし、新型コロナで状況は一変。



平原 真紀子 (43歳)

【プロフィール】市観光課に所属。着地型観光事業や観光振興・誘客支援事業を担当

そんな中、新しい商品を企画し、今までとは違った形で柳川の魅力を発信しようと考えました。柳川ならではの観光資源をモチーフにして、手にとった人がほっこりするような温かみのあるコーヒーのドリップパックやあめを作りました。アイデアを形にすることで新たな交流人口を生み出し、地元の方にも素晴らしい観光資源を再確認していただけるきっかけとなればうれしいです。